

多目的アリーナ

巨大な建物のなぞ

— 驚きの工夫に迫る —

豆記者  岩元愛子

サッカーのワールドカップのときに、ナイジェリアチームの練習場にもなった、馬入ふれあい公園に建設している「多目的アリーナ」を取材しました。

大きなトラックが通ったり、ものすごく高いクレーンが何本も立っている工事現場で、取材が始まりました。このアリーナは、古くなった見附台体育館の替わりとして建設しているそうです。アリーナが完成したら、スポーツのほか講演会や集会、展示会、それにコンサートなどにも利用できます。

アリーナは、相模川に面しているとい

こんなふうになるんだ

アリーナは、バスケットコートが四面も取れる広さで、学校の体育館の四倍もあります。それから、アリーナの二階と相模川の堤防をつなぐ橋も造るそうです。



完成が楽しみ!

う自然環境を生かして造られています。太陽光発電や雨水の利用など自然エネルギーを積極的に利用しています。また、バリアフリーにもなっています。



工事現場の所長さんと握手しちゃった

今、この大きなアリーナは、百人くらいの人たちで建設しているそうです。今から出来るのがとても楽しみです。完成したら、わたし絶対行きます!

花畑や水辺の楽校と一緒に、とてもすてきだと思いました。また、アリーナには防災倉庫や災害のときにトイレとして利用できるベンチなども設置するそうです。防災のこともちゃんと考えてある施設なので驚きました。



工夫がいっぱいだね